

日中の農業の現状と課題

ー中国のスマート農業事例から学ぶー

所属ゼミ：バートルゼミ

発表メンバー：長田華山・ヒョウシケン

・目次

- ①問題意識・研究背景
- ②日中農業の現状と課題
- ③日中農業の共通課題
- ④中国から学ぶスマート農業
- ⑤スマート農業は魅力付けをする
- ⑥提案

・問題意識・研究背景

世界人口の増加から食料不足が危惧され、近年農業の必要性が再認識されてきた。しかしながら、生産目標を掲げるにあたり、労働力不足問題から様々な課題が浮き彫りとなってきた。

本研究において我々は日中間の農業問題から共通課題を定め、そのうえで進みゆく中国のスマート農業事例から今後の農業問題への解決方法と対応を学ぶ。

・研究内容

中国の農業における課題は労働力不足である。長きにわたり実施された戸籍制度により農民の所得の貧富が生まれ、若者は賃金を求め都市部へ出稼ぎに出たことにより、農村地域には高齢者が残り農業を続けていることから、農業従事者の高齢化が大きく進んだ。一方日本においても同様の課題であり、特に高齢化が大きく進んでいる。そのほか、JA問題といった中国とは異なる課題も存在している。一方中国は近年スマート農業が国を挙げて開発が進んでおり、労働力不足の問題を解決する糸口として期待が高まっていることから、同様の問題を抱える日本としても中国から学ぶ必要があるのだ。

・提案 中国→日本：安価なハイテク農機の輸出 日本→中国：ブランド化戦略のノウハウの提供を、行い相互依存作用を起こすことが重要である。